館林市立学校適正規模・適正配置基本方針市民説明会の結果について

館林市立学校適正規模・適正配置基本方針市民説明会の結果概要

令和８年３月に策定した「館林市立学校適正規模・適正配置基本方針」の内容について、市内全公民館及び文化会館小ホールにて市民説明会を開催しました。

⑴　期間

令和８年４月２０日（月）～５月３０日（土）全１２回

⑵　場所

市内全公民館及び文化会館小ホール

⑶　参加者

延べ３５９人

⑷　内容

①　館林市立学校適正規模・適正配置基本方針の説明

②　質疑応答

⑸　説明の概要

①　館林市立学校適正規模・適正配置基本方針の目的と策定までの経過

②　館林市の現状と将来予測

③　課題とこれからの学校教育

④　適正規模・適正配置の基本的な考え方

⑤　学校再編の方法

⑥　学校再編の検討エリア

⑦　今後の進め方

⑹　主な質問及び意見

①　検討委員会について

ア　検討委員会の検討事項については、何をどこまで決めていくのか。

イ　各検討委員会間の調整はどのように行われるのか。

②　学校再編の時期について

ア　具体的に何年くらいまでに学校再編をしたいと考えているのか。

イ　実情から学校再編は待ったなしだと区切って、開校時期から逆算して進めるのが良いと思う。

③　周知について

ア　基本方針の説明と今後の流れがとても分かりやすかったので、忙しくて説明会に行く時間を確保できない保護者などのために説明の内容をウェブ上に公開してほしい。

イ　再編校が開校する場合、児童生徒にはいつ頃周知する予定なのか。心のケアについて検討してほしい。

④　学校教育について

ア　学校再編が行われるまでの間、今と同等の教育の質が保たれるのか。

イ　学校を適正規模にすると、館林市の未来がこのように良くなる、こういった魅力があるといった進め方が教育大綱の目的と結びつくのではないか。

ウ　特別支援学級や不登校の児童生徒が年々増加しているが、再編に伴い対応は考えているのか。

⑤　通学について

ア　小学校の近くには大きな道路があるので交通安全を重視した方が良い。中学生は自転車通学なので遠方でも対応できるのではないか。

イ　スクールバスの導入にあたっては、路線バスの活用など、一般企業等も関わってくると良いと感じた。

ウ　スクールバスのルートに学童クラブを加えてほしい。

⑥　地域との関係について

ア　学校再編を不安に感じる方もいると思うが、地域から子どもがいなくなるわけではないので、次世代がこの地域で幸せに暮らしていけるよう、地区住民として再編を歓迎し、一つのターニングポイントとして捉えていきたい。

イ　小学校の学校運営協議会を傍聴したが、学校、地域、公民館の連携が素晴らしかった。

ウ　館林市は学校と公民館、地域との連携がうまくいっているので、今までの行事をどうしていくのかについて、生涯学習の観点から検討してほしい。

⑦　その他

ア　学校再編のモデルとなるような自治体の事例はあるか。

イ　学校跡地について、防災のための避難場所等でなければ民間への譲渡や売却も一つの方法ではないか。

ウ　推計を踏まえると、今学校再編に取り組まなければならないのは理解できるが、１０年後にまた再編をすることのないような計画にしてほしい。

⑺　動画配信について

令和８年５月２２日（金）より、館林市立学校適正規模・適正配置基本方針の内容を分かりやすくまとめた動画を市公式動画チャンネル（YouTube）に公開しました。引き続き市民への周知を図ってまいります。

なお、右の二次元コードをスマートフォン等で読み取っていただくと動画を閲覧できます。

※その他の内容は別紙「館林市立学校適正規模・適正配置基本方針市民説明会開催結果等一覧」のとおり。